



# 2016年12月期決算説明資料

2016年1月1日 ~ 2016年12月31日

竹本容器株式会社  
(東証2部 4248)

2017年2月10日

 TAKEMOTO

1.2016年12月期業績概要

2.2017年12月期業績見通し

3.中長期目標

4.参考資料

# 1.2016年12月期業績概要



## 2016年12月期連結決算ハイライト

	2016年12月期		2015年12月期		前年比	2016年
	百万円	%	百万円	%		当初計画比
						百万円
売上高	12,799	100.0	12,221	100.0	+ 577	+ 10
営業利益	1,259	9.8	1,250	10.2	+ 8	+ 57
営業外損益	20	0.2	25	0.2	▲ 5	+ 35
経常利益	1,279	10.0	1,275	10.4	+ 3	+ 92
特別損益	▲49	-	▲17	-	▲ 31	+ 4
税金等調整前 当期純利益	1,230	9.6	1,257	10.3	▲ 27	+ 97
当期純利益	836	6.5	827	6.8	+ 9	+ 55
減価償却費	<b>784</b>		<b>638</b>		【参考】平均為替レート	
設備投資額	<b>2,752</b>		<b>1,459</b>		2016年12月期	2015年12月期
(うち 金型)	<b>404</b>		<b>314</b>		対人民元	16.36 円
					対米ドル	108.78 円
ROE	<b>14.5%</b>		<b>15.5%</b>			

## 地域別グループ企業業績

〔日本〕	2016年	2015年	前期比	当初計画比
売上高	10,178百万円	9,174百万円	+1,003百万円	+623百万円
営業利益	913百万円	876百万円	+37百万円	+98百万円

### 売上変動要因

- ①スタンダードボトルニーズ増加、新規案件獲得増加、営業強化
- ②顧客企業の業績好調による、化粧品向けを中心とした需要の増加
- ③開発提案型営業によりスタンダードボトル、カスタムボトルの開発増加
- ④2016年5月結城事業所印刷棟増築により生産効率向上⇒売上増加

### 利益変動要因

- ①売上増加に伴う粗利益額の増加に対し、販管費の増加を抑制
- ②機械稼働率向上により、製造原価の低減
- ③プラスチック原材料価格の低下

## 地域別グループ企業業績

〔中国〕

	2016年	2015年	前期比	当初計画比
売上高	2,640百万円	3,027百万円	▲387百万円	▲552百万円
営業利益	336百万円	341百万円	▲5百万円	▲26百万円

### 売上変動要因

- ①開発提案型営業によりスタンダードボトル、カスタムボトルの開発増加
- ②中堅顧客向け営業を強化するも当初計画ほどの伸びは達成できず
- ③為替変動（円高元安）による円換算額減少（前期比▲463百万円）

### 利益変動要因

- ①生産効率の改善により機械稼働率向上し、製造原価の低減
- ②プラスチック原材料価格の低下
- ③為替変動（円高元安）による円換算額増加（前期比▲58百万円）

## 区分別販売実績

販売先の主要事業内容ごとの販売実績

区分	2016年12月期		2015年12月期		増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
	百万円	%	百万円	%	百万円
化粧・美容	7,889	61.6	7,112	58.2	+776
日用・雑貨	625	4.9	557	4.6	+ 68
食品・健康食品	1,154	9.0	1,012	8.3	+142
化学・医薬	609	4.8	580	4.7	+ 29
卸、その他	2,521	19.7	2,959	24.2	▲438
合 計	12,799	100.0	12,221	100.0	+577

※ 上記区分は販売先の主要事業内容により分類したものであり、  
販売先における実際の用途と上記区分名称は異なる場合があります。

## 区分別販売実績

製商品の内訳ごとの販売実績

区分	2016年12月期		2015年12月期		増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
	百万円	%	百万円	%	百万円
自社製品 (スタンダードボトル)	9,324	72.9	8,981	73.5	+342
顧客金型製品 (カスタムボトル)	1,389	10.9	1,345	11.0	+ 44
他社製品	1,769	13.8	1,474	12.1	+294
材料その他	316	2.4	419	3.4	▲103
合 計	12,799	100.0	12,221	100.0	+577

※上記区分は以下により分類しています

**自社製品**：当社所有の金型を用いて生産した製品（スタンダードボトル）

**顧客金型製品**：顧客が金型費用を負担している製品（カスタムボトル）

**他社製品**：顧客の要望等により他社から仕入れた品物

**材料その他**：協力メーカーへの原材料を販売した物等

## 金型（新製品）開発状況

当社グループでは、中国子会社で手掛けている金型製作工程の一部内製化の施策を進行させるとともに、金型設計標準化ならびに金型開発体制の拡大強化を行うことで、2019年には日本、中国、その他の地域向けの金型合計で、400型超の金型を開発することを新たな中期目標として設定しています。2016年度は自社製を中心に機能性製品の金型開発を進めましたが、特注型を含めた年間製作数は234型と前年比でやや減少しました。

	2016年度 完成金型数	製作中	2015年度 完成金型数
日本	104型 (16型)	63型 (15型)	132型 (29型)
中国	130型 (23型)	96型 (14型)	112型 (40型)
合計	234型 (39型)	159型 (29型)	244型 (69型)

※表の（ ）は内数でカスタムボトル用金型

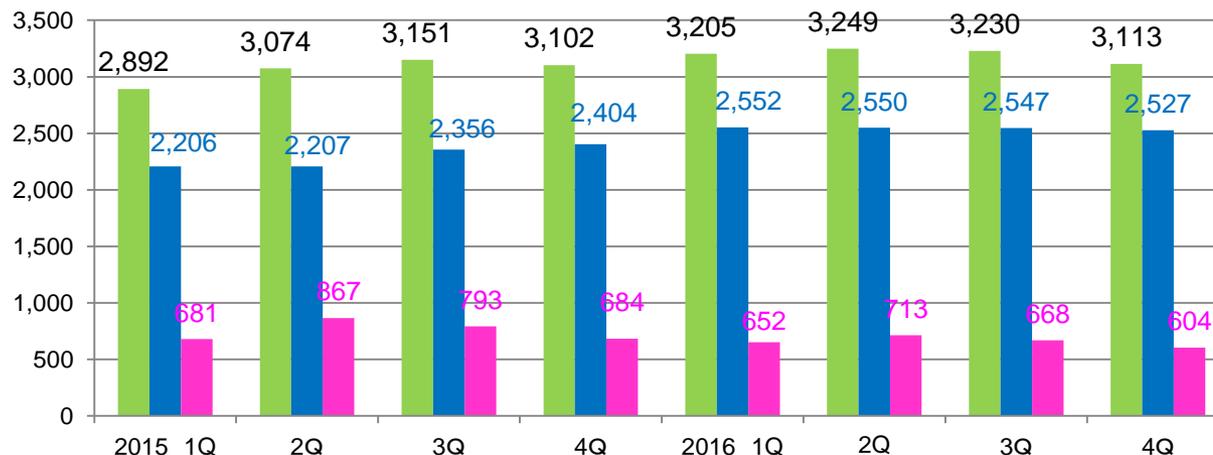
2016年12月末時点での自社金型数は**3,065型**に。

# 1.2016年12月期業績概要

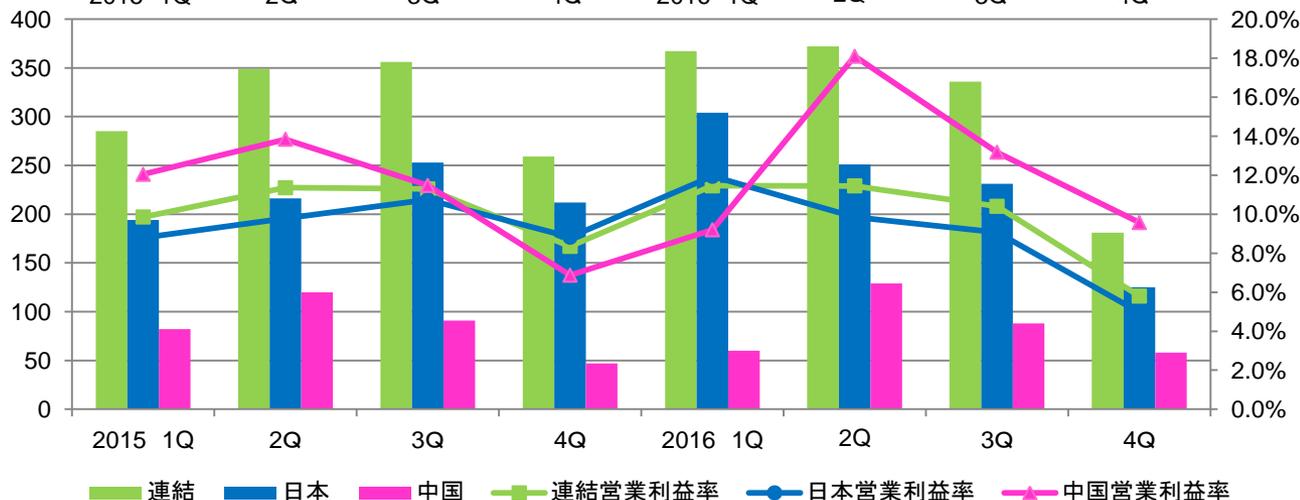
## 2015年以降の四半期業績の推移

単位：百万円

### 〔売上高〕



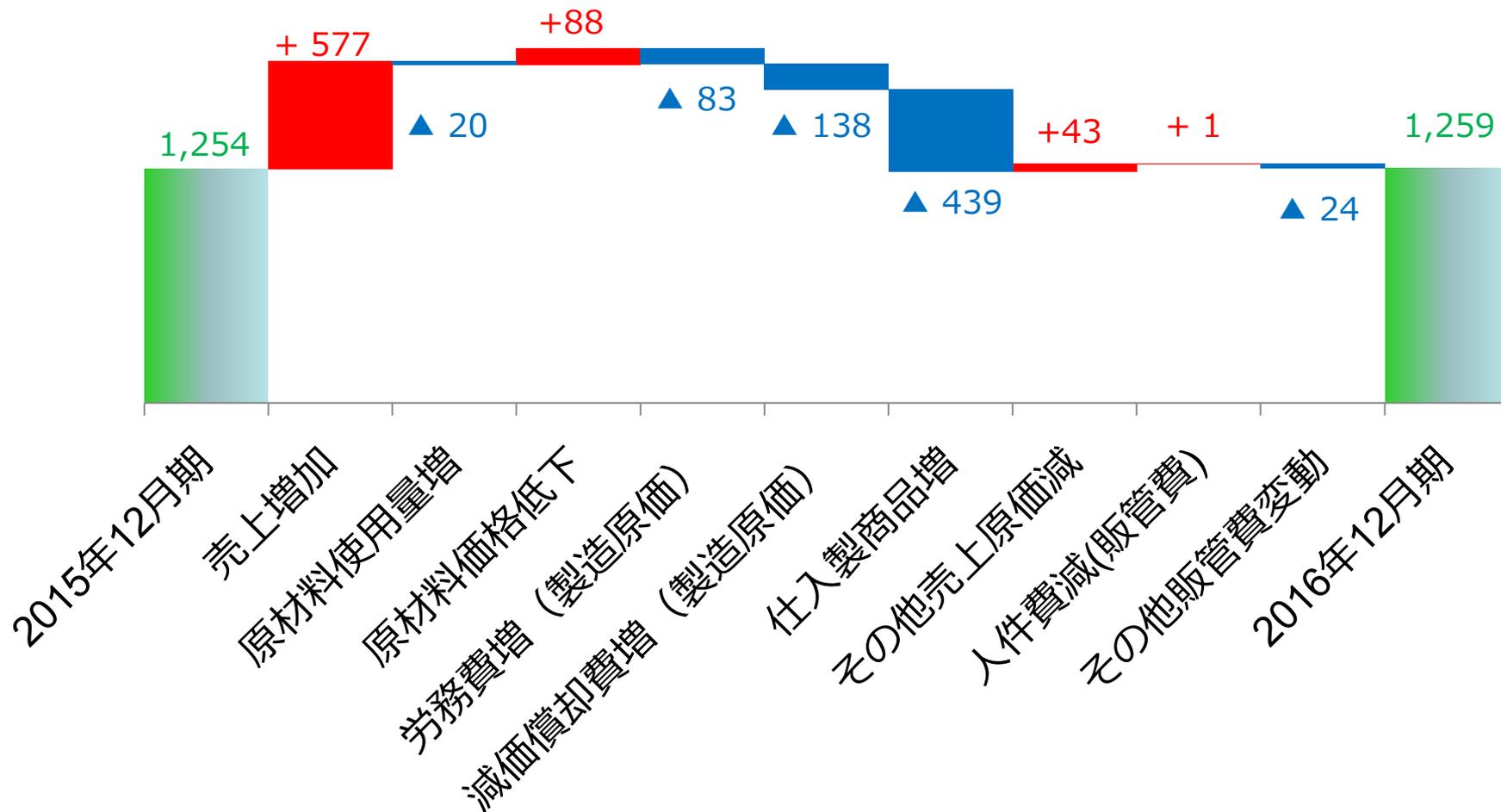
### 〔営業利益〕



※日本、中国はそれぞれ当該地域のグループ企業業績を示している

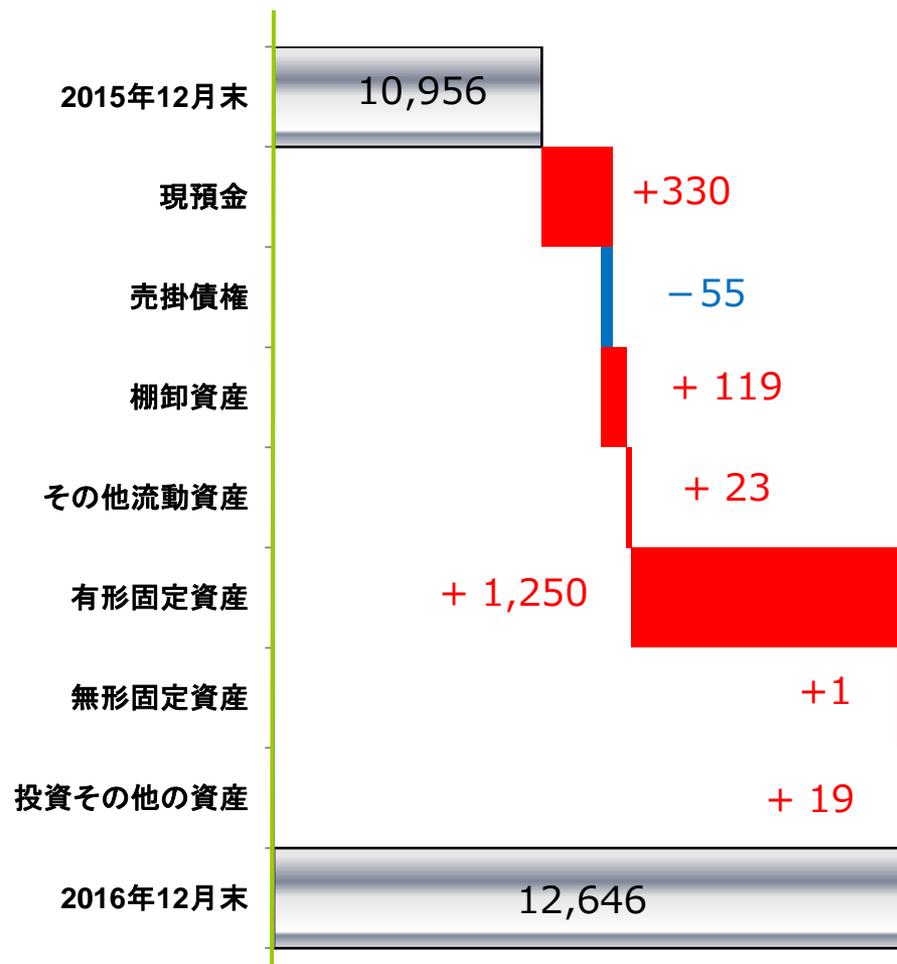
## 2016年12月期 営業利益の増加分析

百万円



## 2016年12月期 連結貸借対照表 資産の部

百万円



### ■流動資産 + 417

現預金 + 330

売掛債権 ▲ 55

商品及び製品 + 144

### ■固定資産 + 1,271

有形固定資産 + 1,250

建物及び構築物 + 1,413

機械装置及び運搬具 + 140

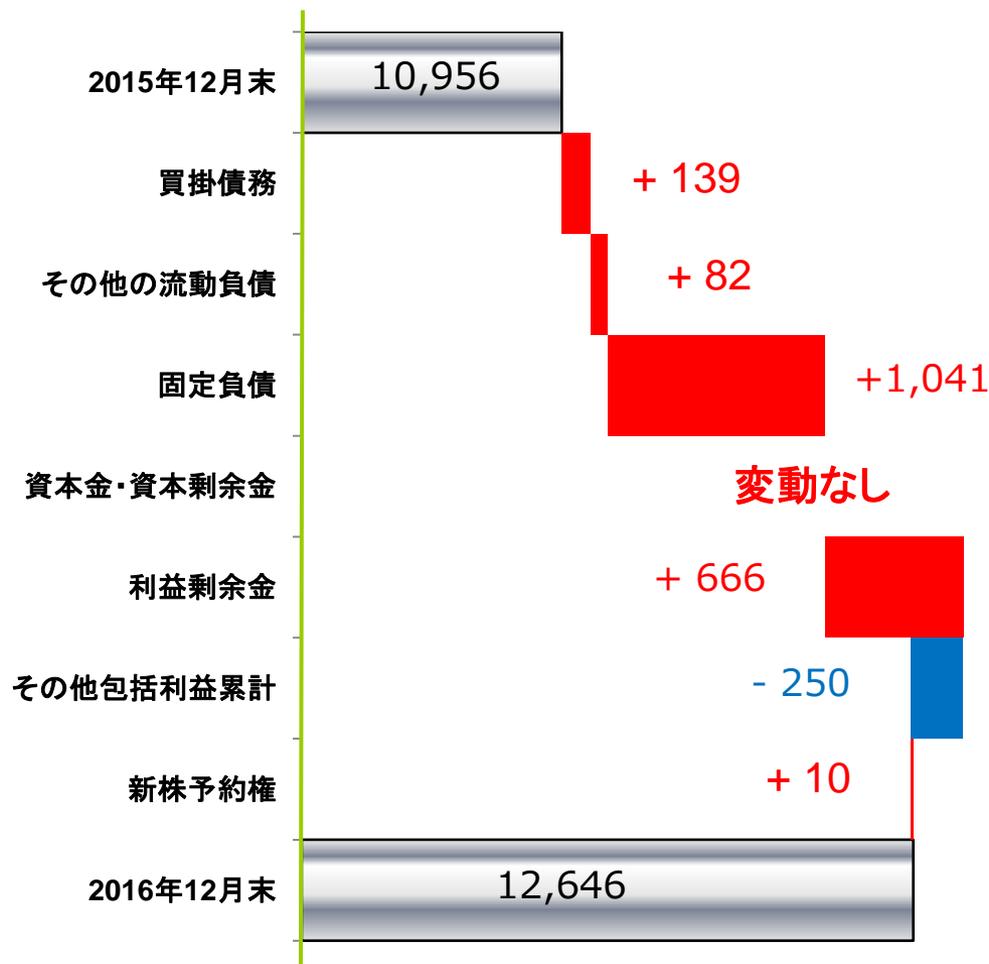
金型 + 32

建設仮勘定 ▲ 463

(結城事業所増設工事着手)

## 2016年12月期 連結貸借対照表 負債・純資産の部

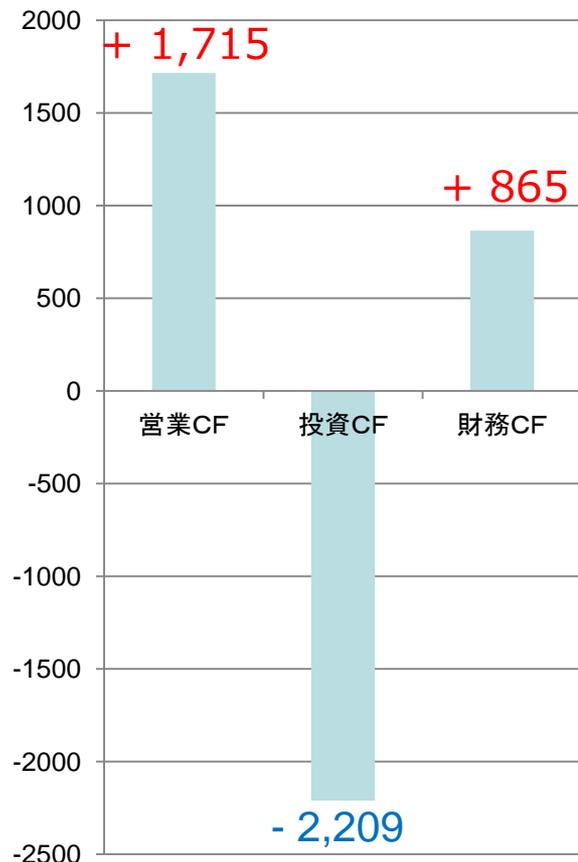
百万円



<b>■負債</b>	<b>+ 1,263</b>
買掛債務	+ 139
長期借入金	+ 1,036 * 1年内含む
未払金	▲ 56
未払費用	+ 73
設備支払手形	+ 147
未払法人税等	▲ 88
<b>■純資産</b>	<b>+ 425</b>
利益剰余金	+ 666
その他包括利益累計額	▲ 250
為替換算調整額	▲ 243

## 2016年12月期 連結キャッシュ・フローの増減

百万円



**現金及び現金同等物は330百万円増加**

<b>■ 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>+ 1,715</b>
税金等調整前当期純利益	+ 1,230
減価償却費	+ 784
法人税等の支払額	△ 509
<b>■ 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 2,209</b>
有形固定資産の取得による支出	△ 2,155
<b>■ 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>+ 865</b>
長期借入金を増減	+ 1,036
配当金の支払い	△ 170

1.2016年12月期業績概要

**2.2017年12月期業績見通し**

3.中長期目標

4.参考資料

## 2.2017年12月期業績見通し

### 2017年12月期 損益見通し

	2016年12月期		2017年12月期		前期比	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
売上高	12,799	100.0	13,218	100.0	+419	+3.3
営業利益	1,259	9.8	1,252	9.5	▲ 6	▲0.5
営業外損益	20	0.2	12	0.1	▲ 8	▲40.3
経常利益	1,279	10.0	1,264	9.6	▲ 15	▲1.2
特別損益	▲49	-	▲ 5	-	+ 44	-
税金等調整前 当期純利益	1,230	9.6	1,258	9.5	+ 28	+2.4
当期純利益	836	6.5	870	6.6	+ 33	+ 4.0
減価償却費	784		952			
設備投資額	2,752		2,758			
(うち金型)	404		576			

### 単年度計画ポイント

#### 売上高

- ・消費者ニーズの多様化、商品サイクルの高速化により、開発コスト削減、開発期間を短縮できるスタンダードボトルニーズは引き続き拡大
- ・開発提案拡大、新規金型増加により売上増加を見込む

#### 営業利益

- ・2016年度の国内二工場建設に伴う減価償却費増加、海外での生産拡大のための先行投資（工場機械、金型、人員確保）の実施により営業利益以下は微減

※想定為替レートは  
下表の通り

	2016年12月期	2017年12月期
対人民元	16.36 円	15.50 円
対米ドル	108.78円	105.00 円

## 為替感応度について

2017年12月期計画の想定為替レートを前提とした場合  
為替が1円円安となった場合の営業利益の影響額は以下の  
とおりとなります。

	想定為替レート	営業利益影響額
対 人 民 元	15.50円	+17百万円
対 米 ド ル	105.00円	△ 9百万円

現状では日本国内⇔海外の製商品の取引はごく少量で  
売上金額への影響は限定的  
人民元に関しては、中国子会社の円換算の影響度が大きい  
米ドルに関しては、米子会社の規模小さく、  
日本での原材料調達額への影響が相対的に大きい

## 製造原価の内訳について

	2017年12月期 (計画)		2016年12月期		2015年12月期	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
売上高	13,218	100.0	12,799	100.0	12,221	100.0
商品及び製品売上高	13,120	99.3	12,698	99.2	12,087	98.9
商品及び製品売上原価	9,127	69.0	8,828	69.0	8,210	67.2
商品及び製品仕入高	3,540	26.8	3,641	28.5	3,241	26.5
製造原価	5,800	45.4	5,300	41.4	5,084	41.6
材料費	1,705	12.9	1,560	12.2	1,628	13.3
労務費	2,133	16.1	2,084	16.3	2,001	16.4
経費	1,748	13.2	1,655	12.9	1,455	11.9
売上総利益	4,008	30.3	3,873	30.3	3,846	31.5

※2017年12月期の材料購入単価は2016年の平均調達価格並みを想定。

## 配当政策

	2016年12月期	2017年12月期 計画
中間配当金	14円	16円
期末配当金	16円	16円
年間配当金	30円	32円
当期純利益	836百万円	870百万円
配当性向	20.4%	20.9%

- ・ 利益還元策は配当性向20%以上を目標として実施する方針

1.2016年12月期業績概要

2.2017年12月期業績見通し

**3.中長期目標**

4.参考資料

### 3.中長期目標

## 中期計画（2017～2019）

### 〔中期スローガン〕

開発提案型ボトルパッケージングメーカーとして、世界で最も顧客に必要とされ、チャレンジングで活気ある企業になる

	2017年12月期		2018年12月期		2019年12月期	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
売上高	13,218	100	14,166	100	15,272	100
営業利益	1,252	9.5	1,231	8.7	1,465	9.6
経常利益	1,264	9.6	1,248	8.8	1,481	9.7
当期純利益	870	6.6	835	5.9	1,018	6.7
減価償却費	952		1,122		1,369	
設備投資額	2,758		1,970		1,452	
(うち 金型)	576		712		802	
EBITDA	2,204		2,353		2,834	

### 中期計画策定のポイント 〔活動計画〕

- ① **スタンダードボトルの開発**  
2016年実績 195型 ⇒ 2019年 300型
- ② **カスタマイズボトル・ファクトリーの拡大**  
「新しい成形」「新しい加飾」「高品質」  
「量産対応」「短納期」をキーワードとした工場づくり
- ③ **カスタムボトル・イノベーションの推進**  
2016年開発実績 39型 ⇒ 2019年 120型
- ④ **グローバルに活動**  
日本、中国、タイ、ヨーロッパ、アメリカ、インド

### 〔前提条件〕

- **プラスチック原材料**  
2017年は前期並み、以降は2015年水準まで上昇すると想定
- **為替レート**  
15.5円/元、105円/ドルで推移すると想定
- **設備投資**  
2017年はインドで工場建設に着手し、2018年からの稼働を計画

### 3.中長期目標

#### 地域別グループ企業計画

地域別セグメントとは一致しません

##### 〔日本〕

	2016年	2017年	2018年	2019年
売上高	10,178百万円	10,515百万円	11,000百万円	11,700百万円
(増減)	+1,003百万円	+337百万円	+485百万円	+700百万円
営業利益	913百万円	982百万円	1,016百万円	1,174百万円
(利益率)	9.0%	9.3%	9.2%	10.0%

##### 〔中国〕

	2016年	2017年	2018年	2019年
売上高	2,640百万円	2,697百万円	2,893百万円	3,093百万円
(増減)	▲387百万円	+57百万円	+196百万円	+200百万円
営業利益	336百万円	291百万円	315百万円	321百万円
(利益率)	12.7%	10.8%	10.9%	10.4%

##### 〔その他〕

	2016年	2017年	2018年	2019年
売上高	196百万円	226百万円	489百万円	711百万円
(増減)	+16百万円	+30百万円	+263百万円	+222百万円
営業利益	5百万円	▲28百万円	▲99百万円	▲31百万円
(利益率)	2.7%	－%	－%	－%

1.2016年12月期業績概要

2.2017年12月期業績見通し

3.中長期目標

**4.参考資料**

### 【会社概要】

会 社 名	竹本容器株式会社
事 業 内 容	プラスチック製容器等の製造・販売
設 立 年 月 日	1953年(昭和28年)5月19日
代 表 者 名	代表取締役社長 竹本 笑子
本 社 所 在 地	東京都台東区松が谷二丁目21-5
資 本 金	3億3,205万円
発 行 済 株 式 数	5,682,200株 (1単元の株式数 100株)
株 主 数	3,348名 (1単元以上保有)
グループ従業員数	910名

※ 数字はいずれも2016年12月末時点

# 「挑戦」なくして進化なし

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。